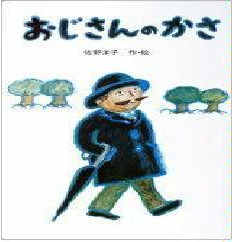



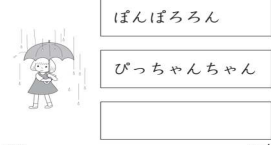

5歳児クラス9月 第1回 「おじさんのかさ」


保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の心情が伝わるように読む。 傘を大切に思うあまり、雨が降っているのに傘をささなかったおじさんの心情を表現する。 物を大切に作る心を感じ取る。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ★傘 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 傘を持って登場。「先生傘を買ってもらったの！でも大事だから使わないんだ」「傘ささないと濡れちゃうよ…雨が傘当たると、いい音がするんだよ」「雨が降ったらポンポロン」等でお話に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 会話をする • 子どもの一員になりお話を聞く 	

がくしゅうタイム

活動①	ことば	自分の考えた雨の音を書く事ができる	
設問	<p>「ポンポロン」「ピッチャンチャン」をみんなで大きな声で言いましょう。この音以外には、どんな雨の音があると思いますか。発表しましょう。自分が思う雨の音を考え発表し、3つ目の欄に鉛筆で書きましょう。</p>		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> • 講：「傘さしてお出かけしたくなっちゃうね」 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • 講：「素敵な雨の音があったけど、どんな音だったか皆で言ってみよう。」皆で声を合わせて言う。 • 「他にどんな雨の音があるか考えてみよう」こんな音があったら楽しい、嬉しいなという音でも良い。 • 決まった子から発表してもよい。 • 「雨の音がお話できたから、おじさんから皆にプリントのプレゼントだよ」等でプリント配布。 • プrintの文字を声をそろえて読み、自分の考えた雨の音を鉛筆で書く。 • それぞれ発表し賞賛する。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • プリント配布 • 子どものフォロー • 賞賛
活動②	数	「開いている傘」の数を数えることができる	
設問	<p>開いている傘は何本ありますか。その数の数字を右下の四角に書きましょう。</p>		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> • 「すごーい！傘がいっぱいあるよ！1枚めくってみよう」 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> • 開いている傘と閉じている傘の確認する。 • 開いてる傘を数えることを伝え、数える時は、左の上から数える。 • 人差し指を出して声を出さずに心の中で数えることを伝える。 • どこを数えたかわからない場合には、鉛筆で斜め線を引き印をつけても良い。 • 出来たら皆で答えを確認して、花丸・ハンコ等で賞賛する。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • 子どものフォロー • 賞賛

活動③		ねい	巧緻性	色の組み合わせを考え傘を作ることができる	
設問	おじさんたちの傘を色を組み合わせせて作りましょう。				教材
つぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「そうだ！先生素敵な傘を作ったんだ」 				P3 P3用傘 ★スティックのり
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 「みんな見て」等で、1枚プリントめくる。 「あれ？へんだな・・・先生ここに素敵な色の傘作ってきたのに雨で飛んで行っちゃったみたい」「よしもう一度作ってみよう」見本を見せる。 「皆も作ってみよう！」で、好きなように色を組み合わせせて自分だけの傘を作る。 模様が決まったら、のりで貼る。時間があれば雨等も描く。 傘カードにのりをつける際に、机が汚れないように紙の上でのりをつけても良い。 出来上がったら展覧会等して、賞賛し終了。 				保育士の役割
					<ul style="list-style-type: none"> 子どものフォロー 賞賛

数子ヤレ		ねい	数		教材
設問	「22（本）」を数える。				
活動内容	※今回は活動②で実施（開いた傘を数える）				保育士の役割